

見つけてみよう

花を見てみよう。
花びらがふんわり
見えるように、色
の濃さを変えて描
いているよ。



つぼみを見てみ
よう。アリがいて
のがわかるかな？
よく観察して描か
れているね。

池や建物の部分
を見てみよう。
細い線で描かれ
ているよ。



「不忍池図」に描か
れている池は、今も
東京都の上野にあり
ます。

上からすべて 小田野 直武「不忍池図」(部分) 98.5×132.5

もっと知りたいな 秋田蘭画



小田野 直武「唐太宗・花鳥山水」各122.0×44.5

人物の服に注目してみましょう。立体的に
見えるように、明るいところや暗い影を描い
ています。人物の足下も見してみましょう。床
が奥の方に続いているように見えます。



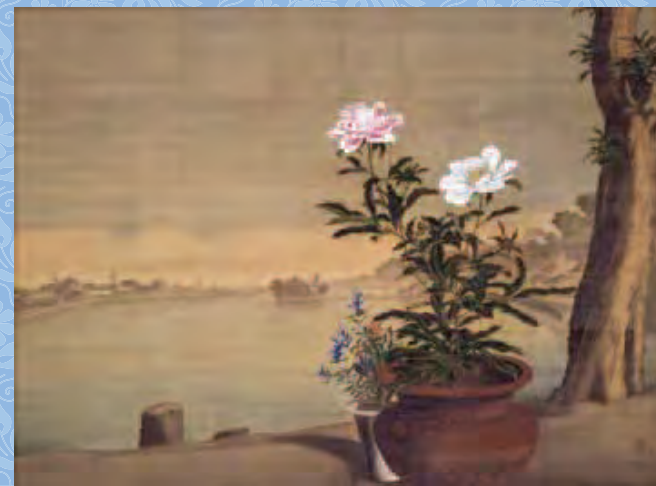
小田野 直武「富嶽図」43.5×77.0

山が遠くに、橋は手前に見えるよう、ものの
大きさや色の濃さを変えて描いています。

秋田県立近代美術館

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46 (秋田ふるさと村内)
電話 0182-33-8855 FAX 0182-33-8858
E-mail: akitamma@rnac.ne.jp
http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public_html/

秋田蘭画と 小田野直武



小田野 直武「不忍池図」98.5×132.5

秋田県立近代美術館



小田野 直武「岩に牡丹図」48.3×72.7

秋田蘭画って なに？

江戸時代に、小田野直武など秋田の武士たちが、西洋の絵に影響を受け、それまでの日本にはなかった新しい描き方の絵を生み出しました。

直武たちは、西洋から伝わってきた描き方である「遠近法(近くものは近くに、遠くものは遠くにあるように見せる描き方)」や、「陰影法(陰をつけてものを立体的に見せる描き方)」を取り入れたのです。

このような絵は秋田蘭画と呼ばれ、大切にされています。

直武の他に、佐竹義敦、佐竹義躬などの武士が秋田蘭画を描きました。

小田野 直武って どんな人？

どこで生まれたの？

江戸時代に、角館の武士の家に生まれました。

絵が大好き！

子どもの頃から絵が大好きで、8歳頃にお釈迦様の絵を描きました。絵が上手で、17歳頃に描いた絵が神社に納められるほどでした。

平賀源内とのであい

平賀源内は江戸時代の人です。医学、本草学(薬の学問)、地質学、発明などで活躍しました。直武は、秋田の鉱山開発のために江戸から招かれた源内とであいました。源内は、直武に西洋の絵の描き方を教えたそうです。

直武、江戸で西洋風の絵を学ぶ

直武は、25歳頃に秋田藩主(お殿様)の佐竹義敦の命令で、江戸で仕事をしました。そして、西洋の絵や中国の絵についてたくさん学びました。

直武、絵を教える

直武は、佐竹義敦に自分が学んだ西洋の絵の描き方を教えました。絵の好きな義敦は、教わったことをもとに、自分でも絵を描きました。

直武の死

直武は32歳の若さで亡くなりました。

直武と「解体新書」

「解体新書」とは、オランダの医学の本を、医者(すき たげんぱく)の杉田玄白(やく)が日本語に訳した本です。

直武は、「解体新書」のさし絵を描きました。さし絵には、人の体のいろいろな部分が本物のように描かれています。「解体新書」によって、それまで謎だった体のしくみがよくわかるようになりました。



図1 解体新書 図版 巻之五 20

図2 解体新書 図版 巻之五 24
「解体新書」秋田県立図書館蔵